

園芸施設共済に加入された方の声をお届けします！



『備えあれば憂い無し。大雪被害に手厚い補償』

以前から加入していましたが、県内でも大きな災害が頻発していた事や、資材価格も高騰し始めていた事もあり復旧費用や撤去費用特約に加え、付保割合追加特約にも加入することにしました。

そんな中、令和３年２月の大雪でハウスが倒壊する被害に遭い、共済金を受け取りました。当時は経営面積の拡大やコスト低減など経営改善に力を入れ始めた最中の被害で不安でしたが、手厚い補償を受けることができ営農継続の力になりました。

近年県内でも夏場に大雨被害に見舞われるなど災害リスクを身近に感じており、園芸施設共済に加入し、もしもの時に備えておくことが重要だと改めて感じています。



秋田県湯沢市
村上 絢一さん

『十分な補償があり助かりました』



宮崎県西都市
長友　正実さん

過去の台風による被害経験と担当職員の勧めもあり、園芸施設共済加入時に付保割合追加特約に加入し、補償割合を８割から10割に変更しました。令和４年９月の台風14号の影響より、ハウス周辺の河川が氾濫。被害状況を確認に行った時には、ハウス内の膝下まで水が溜まっており、定植したピーマンと暖房機等が泥水に浸かっていました。

ピーマンは植え直しを行い、暖房機等は入替を行ったため、大きな損失になりましたが、補償割合を８割から10割に変更しており、被害にあった暖房機等に対して十分な補償を受けることができて助かりました。

以前の台風による被害を戒めとして、補償内容を再検討した結果が功を奏しました。

農林水産省

（令和8年8月）

『豪雨による附帯施設（暖房機等）の水没にも共済金が』



熊本県八代郡
野尻　靖貴さん

園芸施設共済には以前より加入していましたが、近年頻発している大規模な自然災害に備え、令和７年６月に附帯施設及び復旧費用特約への加入を決めました。

そんな中、令和７年８月に熊本地方を襲った豪雨により、暖房機をはじめとした附帯施設が水没してしまいました。もし附帯施設への加入を見送っていたらと思うと肝を冷やしました。

これまで、園芸施設共済は台風や突風による被害に備える認識でいましたが、今回の大雨による被害のように、いついかなる災害が発生しても再建できるよう、備えておくことが大事と改めて感じました。

『特約加入で、ハウス全壊時に思っていた以上の共済金』



高知県香南市
亀川 維彦さん

台風シーズンの夏場はハウスのビニールを巻き上げているので大きな被害はなく、一時期は加入をやめようか悩んだときもありました。しかし、保険は入って当たり前という考えがあり、NOSAI職員の方々も大変よくしてくれるので、加入を続けていました。

そんな中、令和２年の４月に竜巻の被害に遭い、ハウスが全壊しました。NOSAI職員の勧めで復旧費用や撤去費用、附帯施設を補償する内容で加入していたので、思っていた以上に共済金が支払われ、本当に助かりました。

ハウスの近くには海や川があり、風の被害や冠水が起こりやすい場所ですが、園芸施設共済に加入しているので安心です。

『小さな被害も補償され、制度が良くなっていることを実感』



山口県周南市
津野地　茂雄さん

安心して農業経営をするために加入しました。

毎年の全国的な台風や大雨のニュースが気になるので、加入は安心感に繋がっています。NOSAI職員の方から制度改正について説明を受け、制度内容が良くなっていることは理解していましたが、実際に１万円特約を付帯したことで小さな被害から共済金を受け取ることができ、補償の充実を実感します。物価高騰により資材も値段が高くなっているので修理費用の足しにでき助かっています。

また、集団加入で申し込んでいるので割引があり掛金負担が軽減されるのも嬉しいポイントです。これからも引き続き加入していきます。

その他の声はコチラから

検索　園芸施設共済 声

農林水産省

（令和8年8月）